

参考資料

- ❖ 令和6年度地域包括支援センター業務自己評価
(参考資料1) P. 1～6
- ❖ 指定介護予防支援業務等の委託状況及び介護予防給付サービス等事業所
利用状況 (参考資料2) P. 7～11
- ❖ 地域密着型施設の入所状況 (参考資料3) P. 12
- ❖ 各地域包括支援センター令和6年度事業報告 別冊

令和6年度地域包括支援センター業務自己評価

参考資料 1

【1. 全体運営方針に係る評価】

区分	評価項目	江別第一地域包括支援センター		江別第二地域包括支援センター		野幌第一地域包括支援センター		大麻第一地域包括支援センター	
		評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況
関係機関との連携	市と共同で開催する全体会、管理者会議、三職種部会などの会議において、主体的・積極的に情報提供及び提言を行っている。	5	各種会議や三職種部会で方向性を提示した。管理者会議内で運営規定の変更や書式作成について、中心となり提言するなど積極的に役割を担った。	4	全体会、管理者会議で圏域の情報提供や課題を具体的に報告している。部会では、司会、幹事等の役割を積極的に果たすとともに、積極的な意見を発言する機会も多い。	4	各会議において、情報提供や意見を提言している。社会福祉士部会及び保健師部会では部会長の役割を積極的に果たした。	5	各種会議や三職種部会で圏域内の情報提供や業務に係る提言等を積極的に行っている。主任CM部会では部長の役割を果たしている。
	地縁組織や関係機関の会議等に積極的に参加し、多様な主体とのネットワークを構築している。	4	民生委員児童委員協議会に参加し、高齢者クラブの会合に前年度より多く参加し、各役員と意見交換できる関係性を構築した。	4	地域組織の会議に参加し、情報交換を行う機会を持つことができた。更に、個別ケースの対応を通じ、多様な関係者とのネットワークを構築した。	5	R6は野幌北地区全自治会に対し、地域活動の情報収集と協議体を実施し住民との、また、地域ケア会議において関係機関との関係構築を図った。	3	関係機関の会議や協議会等へ参加し、情報交換の機会を持った。また、自治会や高齢者クラブの会合に参加し、講話等を通してネットワーク構築を行った。
公正性・中立性の確保	居宅サービス事業所及び居宅介護支援事業所の紹介等にあたって、公正・中立を厳正に保っている。	4	自法人に偏ることなく、利用者の希望を聞き取り、市内外の様々な居宅介護支援事業所に依頼した。福祉用具事業者は偏りが低減し、公平性が確保された。	4	居宅サービス事業所及び居宅介護支援事業所の紹介は、ガイドブック等により事業所の情報を提供の上、利用者の意向確認を行い、公平、中立の立場で実施。	3	利用者の状況、意向に合わせた事業所を複数紹介し、選択できるように対応している。	4	利用者の状況や意向に合わせて複数紹介し選択をしていた。職員間で紹介実績を共有し、依頼先が偏らないように公正・中立を保っている。
認知度の向上	高齢者、地域住民及び多様な主体における地域包括支援センターの認知度を向上させている。	4	アンケートは実施していないが、自治会や高齢者クラブの集まりに参加し、終了後に個別相談に対応する時間も設け、そこから支援や介入開始となる機会が増えた。	4	なじみの地域団体のほか、地域活動へ参加の際は、当該地域包括支援センターの業務、取組内容を認知いただく取組を実施した。	4	野幌北地区全自治会に対し、地域活動の情報収集を行うとともに、認知度向上に向けた取組を行った。来所相談が増え、認知度が向上している。	4	新規の取組は行っていないが、講話や通いの場にてパンフレットやチラシを配布した。地域の近隣住民からの相談が前年に比べ増加しており、認知度の向上が窺えた。
運営体制の整備及び機能の強化	江別市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を順守している。	4	三職種の人員交代もなく基準通りに安定した配置で運営できた。予防プラン作成件数も三職種の年間作成件数が29名以下／月と、上限を超えずに遵守できた。	3	職員体制の変更に伴い、市の助言を仰ぎながら、義務付けられている三職種の人員配置の規定を順守している。	4	三職種の人員配置の規定を順守している。プランの件数の上限を毎月遵守している。	5	三職種の人員配置は4人で規定を順守している。プラン件数も上限を超えないように調整し、上限を順守した。

区分	評価項目	江別第一地域包括支援センター		江別第二地域包括支援センター		野幌第一地域包括支援センター		大麻第一地域包括支援センター	
		評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況
運営体制の整備及び機能の強化	配置された三職種が個々の専門性を生かし、センター内外の専門他職種と連携及び情報共有を図る体制を整備している。	5	医療機関や障がい福祉分野主催のセミナーや研修会に参加し、知識や関係性を深めた。センター内では定期的に三職種間で今後の方向性や運営状況を確認した。	4	外部研修に積極的に参加し、内部伝達研修を行うことで職員の資質の向上に努めた。	4	外部研修や会議等に参加している。研修内容はセンター内で報告し、共有している。	4	職種の専門性や業務に生かせる内容の研修計画を作成し、前年同様参加している。毎月センター内の専門他職種で会議を行い、連携や情報共有の場を整備している。
運営体制の整備及び機能の強化	緊急時連絡網や危機管理マニュアル等の策定、情報管理の徹底などの体制を構築し、適正に運用している。	5	BCP(災害・感染症)・避難確保計画を整備し年2回の研修や訓練を実施。情報管理についても、個人情報保護規程を遵守し適切に取り扱い、定期的に確認した。	4	緊急時、災害時の管理体制に関して定期的に運用の見直しを実施した。PCIには職員IDやPWを設け、個人情報記載された書類は施錠できる書類にて保管した。	4	連絡網の作成、BCPの研修会及び机上訓練を行った。PCIは職員IDやパスワードを設定し、書類は施錠できる書類に保管している。	5	BCP作成、連絡網、ハラスメント対応など危機管理体制を整備している。情報管理のルールを整備し、個人情報鍵付き書庫へ、PCIはパスワード管理を徹底した。
PDCAによる機能強化	運営状況の検証を常時行うとともに、外部機関の評価や意見を踏まえ、PDCAサイクルによる改善や機能強化を行っている。	4	第三者委員会は未設置だが、月1回の法人事務局会議内にて運営状況の報告や改善策を検討しながら運営した。また、新たな課題発生時に適宜、迅速に検討した。	3	運営方針に基づいて、業務自己評価を行っている。市及び法人本部に運営状況の報告を適宜行い、助言を待ながら、改善等を行っている。	3	事業計画を作成し、中間評価、最終評価を行っている。その結果を次の事業計画に反映している。	3	運営状況については、自己評価を行うとともに運営法人の本部へ定期的に報告している。課題に対しては、適宜業務改善等の見直しを行っている。
各種感染症への対応	高齢者に対して相談や支援を担う機関として、感染症対策を徹底した上で各種事業に取り組んでいる。	5	新型コロナウイルス感染症が第5類移行後も、訪問、相談対応、事業実施時にマスクを着用し対応した。継続して感染症マニュアルを遵守し運営する事ができた。	4	感染症対策を徹底し、関係機関と連携を図り各種事業の継続に努めた。職員の健康管理を実施し、事業所内の感染対策を徹底した。	4	感染症対策を徹底した上で、相談・各種事業を実施している。事業所内における感染症対策を行っている。	4	業務内ではマスク着用や手洗い、換気等の基本的な感染予防対策を継続している。センター内でも上記に加えてアクリル板を設置している。

【2. 個別取組方針に係る評価】

区分	評価項目	江別第一地域包括支援センター		江別第二地域包括支援センター		野幌第一地域包括支援センター		大麻第一地域包括支援センター	
		評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況
総合相談	総合相談窓口としての機能を適正に発揮するとともに、苦情・要望等に対して真摯に対応し、解決まで責任を持って対応している。	4	情報共有のため連絡ノートの活用を継続。自費サービスの一覧を更新し適切な相談対応が行われるよう取り組んだ。苦情等の責任者は管理者発信とし共有した。	4	相談内容に関して三職種が連携し、適切な対応を行うよう努めた。苦情対応は、組織内の体制を確立し連携を図り、適切な対応を行った。	4	土曜日終日営業、休日・夜間の電話対応等、相談しやすい体制整備に取り組んでいる。苦情受付担当を配置している。	4	相談内容について毎週センター内会議を開き、情報を共有して全職員が統一した対応を行えるようにした。苦情等は管理者を責任者として対応している。
権利擁護	高齢者虐待などの権利侵害の未然防止・早期対応に取り組み、関係機関等と連携して事態の解決に結びつけている。	5	高齢者虐待疑いの通報に対し、早期に事実確認を行い市担当係に報告。相談受付票を迅速に提出し協議した。市だけでなく医療機関とも連携を図り対応した。	4	市に報告・相談の上、連携を図り、事実確認の訪問など早期対応に努めた。虐待の疑いも含め、関係機関と情報共有し、事態の早期解決に向けて支援した。	4	高齢者虐待の早期解決に向けて、市と協議し、医療機関との連携、養護者支援を行い、早期解決を図った。	4	高齢者虐待やその疑いのある相談を受けた際は、三職種を中心に市に報告、相談のうえ、訪問による情報収集を行い、未然防止、早期発見に向けて迅速に対応した。
権利擁護	江別市成年後見支援センターを始めとした権利擁護に関する支援機関や専門職等との連携体制を構築し、権利擁護を推進している。	4	江別市成年後見支援センターの活動状況等に関し意見交換会を行い、互いの状況把握に努めた。個別対応でも、同行訪問や同席をし、役割分担を行い支援した。	4	江別市成年後見支援センターとの連携や情報交換に努め、対象者への情報提供や支援機関と連携し、適切な支援につなげることができた。	4	成年後見の必要なケースに対し、関係機関と連携し解決に向けた取組を行っている。	4	江別市成年後見支援センターを始めとした権利擁護に関する支援機関等と勉強会を開催し、情報交換を行うなど連携体制を構築している。
介護支援専門員に 対する支援・指導	介護支援専門員のニーズに基づいた対応力向上や医療・介護連携を支援するとともに、自立支援の共有及び浸透を図る支援をしている。	5	介護支援専門員からの相談を受け、地域組織との橋渡しや代理での連絡等の支援をした。江別市が目指す自立支援について、周知活動に取り組んだ。	4	介護支援専門員のニーズに基づいた支援を行うとともに、自立に資するケアマネジメントが行えるよう自立支援の共有を図った。	4	介護支援専門員のニーズに基づき地域ケア会議等を実施し、関係機関のネットワーク構築を図った。自立支援の共有や浸透を図るため研修会や事例検討会を企画した。	4	介護支援専門員のニーズに基づきスーパーバイジョンやケースへの支援を行った。部会活動では主に介護支援専門員へ自立支援の浸透を図る支援を行った。
介護予防・ケアマネジメント	高齢者の課題の把握・分析や目標設定を適切に行うとともに、インフォーマルな支援も活用した総合的なマネジメントを行っている。	4	全プランに期間を定めて目標設定を行った。インフォーマルサービスも情報収集し、紹介しやすいようにまとめている。全職員が地域の情勢やサービスにアンテナを張り共有できた。	4	利用者のニーズや強みを意識し、期間を定めた目標を設定している。インフォーマルな資源の情報を伝え、取り入れながら支援している。	4	全てのケースに期間を定めた目標設定を行っている。インフォーマルな支援も含めたケアマネジメントに取り組んでいる。	4	プランはすべて適正な目標期間を設定し評価を行っている。全職員が地域資源等のインフォーマルサービスを取り入れたプラン作成を心掛けている。
介護予防事業	地域組織との連携等により介護予防講座の参加者を増加させるなど、介護予防及びフレイル予防に関する正しい理解の普及啓発を促進している。	5	各種団体より出前講話の依頼が増え、参加者総数が増加した。自治会等に対して、講師派遣型介護予防教室の案内をし、開催回数が増加。連携を深める結果となった。	4	活動再開した団体へ働きかけ介護予防教室の参加者数を増加させた。また、フレイル予防の普及啓発を続けたことで、通いの場での体験の実施につながった。	4	介護予防講座の周知を行い、参加者数が増加した。フレイル予防の出前講話を積極的に周知し、実施回数および参加人数が昨年を大幅に上回った。	4	介護予防及びフレイル予防の普及啓発の取組として、自治会や高齢者クラブ、通いの場等でPR活動を行い、出前講話の参加者の大幅な増加につながった。

区分	評価項目	江別第一地域包括支援センター			江別第二地域包括支援センター			野幌第一地域包括支援センター			大麻第一地域包括支援センター		
		評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価	評価根拠・取組状況	評価
介護予防事業	介護予防サポーターの活用やリハビリテーション専門職との連携により、地域における社会参加と介護予防・健康づくりの機会を拡大させている。	4	既存の通いの場に専門職派遣事業を活用して、リハビリ職と連携し体力測定を実施。住民主体の通いの場の運営に向けて介護予防サポーター等に側面的な支援を実施した。	4	元氣アップサポーターと連携し、新規の講話やリハ職派遣を実施し、健康づくりの機会の拡大を図った。口腔機能の専門職派遣につなげるための講話を実施している。	4	介護予防サポーター等と連携し、通いの場において介護予防が効果的に行われるよう専門職派遣・フレイルチェック・体力測定等健康づくりの機会を拡大した。	4	通いの場の活動支援の継続や専門職派遣の活用をとおして、参加者に対し健康づくりへの意識を高める機会を持つことができた。	4			
医療介護連携	江別市医療介護連携推進協議会の取組に積極的に参画するなど、医療と介護の連携構築に主体的な役割を果たしている。	3	医療介護連携推進協議会の取組において主体的に役割を担える機会はないが、医療機関担当者との情報共有についてば、密に行っている。	4	お薬手帳連携シートへ介護情報を記載した。入退院時の情報共有のほか、未受診者へ同意を得て、疾患に応じた情報提供を医療機関に行い、心身状態を情報共有した。	4	ケースを通して医療機関と連携を図った。認知症支援を考える会で、認知症の人を支える医療と介護の連携について意見交換し、ネットワークが強化された。	3	医療介護連携推進協議会の取組に関わる機会があまりなかったが、普段の業務では医療機関担当者との密な連携体制を構築している。	3			
生活支援体制整備	地域における多様な主体との連携や地域住民の互助による助け合い活動を推進し、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを行っている。	4	地域フォーラムを6回、地域の支え合い出前講座を1回開催した。実施した自治会役員と現状及び課題の確認を行い、自助・互助の意識醸成に向けて意見交換を実施した。	3	自治会等に対し自助・互助の考え方を周知し、意識醸成を図った。民生児童委員等を通して、見守り活動のあり方や地域での支え合いについて検討した。	5	地域フォーラム等により自助互助の意識の醸成を行った。野幌北地区全自治会に対し、「私の地域の支え合いの室」をテーマに新たな第2層協議体を実施した。	3	地域フォーラムの開催はなかったが、地域の支え合い出前講話は9回開催し、地域住民に自助互助について伝えるなど、意識の醸成に取組んだ。	3			
認知症に関する総合支援	認知症サポーター養成講座等による普及啓発に取り組むとともに、多世代に向けた、認知症に対する興味関心を広める機会の創出に努めている。	3	認知症サポーター養成講座を小学校で開催。ステップアップ講座の企画委員も担った。市民向け認知症サポーター養成講座の周知・会場設置に協力した。	3	出前講話で認知症予防を説明したり、認知症サポーター養成講座の実行委員を担うなど普及に取り組んだ。民生児童委員や医療機関と連携し、支援体制の整備を図った。	4	講座開催は1件だが、認知症予防講話の依頼が多く、正しい知識の普及啓発を行った。第2層協議体において、新しい認知症観の普及啓発を図った。	4	認知症サポーター養成講座は前年と同程度の実施となった。講座では講師を務め、認知症についての普及啓発に取組んだ。	4			
認知症に関する総合支援	認知症地域支援推進員等と連携して地域の支援体制整備に取り組むとともに、認知症の人及びその家族が自分らしい生活を続けられるよう適切な支援を行っている。	4	認知症地域支援推進員と情報交換を行い、介入依頼やケース同行訪問を支援につなぐために、居宅介護支援事業所を紹介した。	3	認知症地域支援推進員との直接的な連携支援はないが、支援の過程において社会資源を広く収集し、当事者への情報提供及び推進員との支援経過の共有を図った。	4	認知症に関わる医療機関との連携や認知症地域支援推進員を含めた地域ケア会議・ケース会議において、早期対応及びネットワークづくりに取り組んだ。	3	日頃から認知症地域支援推進員と認知症高齢者について意見交換や連携の機会を持ち、認知症の状態で合せて社会資源を活用し、支援につなげた。	3			
認知症に関する総合支援	認知症初期集中支援チーム及び医療機関と連携し、認知症の早期発見・早期対応に積極的に関わり組んでいる。	5	認知症初期集中支援チームに2ケースの支援依頼をし、チーム員会議に出席した。また、支援終了ケースの対応経過について情報提供を行っている。	3	認知症初期集中支援チームにはつながらなかったが、認知症地域支援推進員と連携し、認知症の症状のある地域住民について、情報を共有した。	4	家族や地域からの相談に、推進員や関係機関と連携の上、早期に対応した。初期の認知症の人に、にりんそうの集いを紹介し、他者と交流できるように支援した。	3	認知症初期集中支援チームへの事例提供にはつながらなかったが、センター内で対応が難しいケースは、認知症地域支援推進員から助言を受けて対応した。	3			

区分	評価項目	江別第一地域包括支援センター		江別第二地域包括支援センター		野幌第一地域包括支援センター		大麻第一地域包括支援センター	
		評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況
地域ケア会議	センターが主催する医療機関、専門職、親族や住民等による地域ケア会議を通じて、高齢者を支援する体制づくりを行っている。	4	地域ケア会議開催数は前年度より増加した。複数課題を抱えるケースの支援時に関係機関と連携し、同行訪問等を行った。センターの対応能力が向上した結果と評価。	4	地域ケア会議を通じて関係機関と連携し問題解決に至った。通常業務の中で、病院・社協・行政と継続的な連携体制を構築している。	4	地域ケア会議を通じて、成年後見支援センター・弁護士・ケアマネジャー・障害部門等の多様な主体による支援を検討・実施し、連携体制を構築している。	3	センター主催の地域ケア会議はなかったが、多問題を抱えるケースへの支援については、関係機関との密な連携体制を継続し、介護支援専門員への支援につなげた。
地域ケア会議	市が主催する自立支援型地域ケア会議に積極的に事例提供を行い、自立に向けた支援を実践している。	5	事例提供を行うとともに、居宅介護支援事業所の事例提供者にもICFの考え方を助言した。事例の評価を実施し、圏域外の状況を確認するため会議の見学を行った。	4	自立支援型地域ケア会議に毎月積極的に参加し、指定月に事例を提供している。会議後は助言を基にした支援を実施し、結果をモニタリングしている。	4	自立支援型地域ケア会議へ事例提供し、会議で提案された方策を実践し、結果をモニタリングしている。	5	自立支援型地域ケア会議に積極的に参加して事例提供している。専門職からの助言を業務内で参考にして支援計画に生かしている。
地域ケア会議	地域ケア会議等を通じて抽出・把握した地域課題を、生活支援体制整備事業と連携して課題解決に向けた提言や取組を行っている。	4	日常業務で感じた地域課題を月1回の第一層生活支援コーディネーターとの打ち合わせの場で積極的に提言した。地域ケア会議開催回数は少ないが課題は抽出済み。	4	転入・呼び寄せ高齢者が多く、地域活動につなぐににくい点が地域課題であることをSC間で共有し、転入者への情報提供の為に文書を作成・送付している。	4	地域ケア会議やSCIによる地域づくり会議を実施し、地域課題を抽出し、まとめている。第1層SCとの連携による取組やSCの集まりにて提言している。	3	圏域内の地域課題や日々の業務で感じていることを、月1回の生活支援コーディネーターの集まりにて意見交換や提言を行った。

【3. 独自項目】

項目	江別第一地域包括支援センター	江別第二地域包括支援センター	野幌第一地域包括支援センター	大麻第一地域包括支援センター
(1) 独自に取り組んだこと、特に重要視して取り組んでいることなど、記入する。	① 新規相談や困難ケース等、毎日全職員で情報を共有しながら確認と検討をする機会を設けている。 ② 担当地区内の民生委員児童委員との密な連携を目指し、地域包括支援センターの役割や詳細な活動実績・目標の説明を行っている。 ③ センター独自の出前講話プログラムを準備し配布することで、各種関係団体や依頼者との良好な関係性の構築や協働機会が増えるように工夫している。	① 地域組織のリーダーと意見交換を行い、地域課題の情報共有を図っている。 ② 個別相談業務をとおして、多職種・他機関と連携し、高齢者を支援する体制づくりに向けて、ネットワーク強化を図っている。 ③ モルックを通じた通いの場の活動充実を図りつつ、通いの場の継続につなげている。	① 野幌北地区を対象に地域活動の把握を行い、得られた情報を基に「私の地域の支え合いの宝物」をテーマに第2層生活支援体制整備協議体を開催した。 ② 認知症地域支援推進員との協働による「新しい認知症観」を普及啓発した。	① センター主催の通いの場を2カ所運営し、元氣アップ体操、Eリズム体操を実施する取組を継続している。 ② 支援困難ケースへの対応や地域活動の実施に向けてセンターの三職種ミーティングを定期的に開催している。 ③ 新規事業所について積極的に情報収集、見学などを行い、資料を整理してセンター内で共有するようにしている。
(2) (1)により得られた効果など、取組の評価を記入する。	① 職員間でスーパーバイズを行うことで、センター内の相談対応能力が向上している実感がある。 ② 14名の民生委員児童委員より様々な相談を受けた。活動実績・目標の説明と提示の成果であると考ええる。 ③ 出前講話や地域フォーラムの参加及び開催数が増加。住民組織と協働して地域づくりを考える基盤を造っていると評価する。	① 地域の支援対象者の情報提供が増え、状況確認等の積極的な協力を得られている。 ② 複雑な課題を抱えている事例が多く、解決のために、当事者を含め、行政、医療、障がい、介護等の多様な関係機関との意見交換や情報共有をとおし、ネットワークの強化を図る事ができた。 ③ モルックを通じて、参加者間に連帯感が生まれ、交流や継続的な参加につながっている。	① 地域の強みに目を向け、身近な活動も支え合いにつながっていることを共有する機会となり、地域活動による支え合いの継続・拡大に寄与できた。地域包括支援センターの認知度の向上にもつながった。 ② 認知症の人や家族が自分らしい生活を送る、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりにつながった。	① 介護予防や認知症予防として地域住民が運動や社会交流に取組める活動の場となっており、参加者も増加している。 ② 個別ケースの支援や地域活動に対して情報を整理し、役割分担等を行い、スムーズな対応や活動ができた。 ③ 社会資源等の情報を集約して、相談時には、より多くの情報提供ができ、選択の幅が広がっていると感じる。

指定介護予防支援業務等の委託状況

【 令和6年度介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントA委託先事業所及び件数 】

※件数は令和6年度における総件数

江別第一地域包括支援センター

順	居宅介護支援事業所名称	件数	(%)	件数が最も多い事業所の選択理由
1	のぞみ指定居宅介護支援事業所	72	29.1	居宅介護支援事業所側より再委託契約が行えることを発信してくれている。事業所担当ケースが要介護認定から要支援認定となっても、ケアマネジャーとの関係性を重視して担当者の変更なく継続的に支援をしてきている。
2	わかさ指定居宅介護支援事業所	38	15.4	
3	ひだまり居宅介護支援事業所	25	10.1	
4	静苑ホーム居宅介護支援事業所 友愛野幌	21	8.5	
4	在宅介護相談えべつ英生会ケアプランセンター	21	8.5	
-	その他の事業所	70	28.3	

江別第二地域包括支援センター

順	居宅介護支援事業所名称	件数	(%)	件数が最も多い事業所の選択理由
1	のぞみ指定居宅介護支援事業所	184	62.6	のぞみ指定居宅介護支援事業所は圏域の中でも比較的職員の人数が多め(4名)であるため、再委託を受けてもらっている。また、長期継続利用者が多いことも挙げられる。
2	萌えぎ野西ケアプランセンター	49	16.7	
3	ニチイケアセンター野幌	19	6.5	
4	ケアプラン相談センターおおあさ	12	4.1	
5	在宅介護相談えべつ英生会ケアプランセンター	12	4.1	
-	その他の事業所	18	6.1	

野幌第一地域包括支援センター

順	居宅介護支援事業所名称	件数	(%)	件数が最も多い事業所の選択理由
1	はるにれ居宅介護支援事業所	86	16.0	再委託の受け入れを行う居宅介護支援事業所が限られているため、件数が減少している状況にある。 再委託を依頼する場合、事業所を選択して行っている実情ではない。
2	ニチイケアセンター野幌	77	14.3	
3	静苑ホーム居宅介護支援事業所 友愛野幌	60	11.1	
4	ひだまり居宅介護支援事業所	44	8.2	
5	居宅介護支援事業所友愛ナーシングホーム	33	6.1	
-	その他の事業所	239	44.3	

大麻第一地域包括支援センター

順	居宅介護支援事業所名称	件数	(%)	件数が最も多い事業所の選択理由
1	ケアプランセンターみのり丘	78	14.6	近くの事業所を希望されることが多く、地域での知名度も高い事業所である。また、長期に再委託利用者を担当してくれていることが挙げられる。
2	ひだまり居宅介護支援事業所	69	12.9	
3	はるにれ居宅介護支援事業所	45	8.4	
4	居宅介護支援事業所季の風	41	7.7	
5	葵の園・江別居宅介護支援事業所	40	7.5	
-	その他の事業所	262	49.0	

介護予防給付サービス等事業所利用状況

【 1 介護予防訪問介護・第1号訪問サービス】

江別第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	ヘルパーステーションわかくさ	30	71.4	1	ヘルパーステーションわかくさ	24	64.9
2	ホームヘルプサービス夢ふうせんみどり	4	9.5	2	ヘルパーステーションおおあさ	5	13.5
3	ヘルパーステーションおおあさ	2	4.8	3	ホームヘルプサービス夢ふうせんみどり	3	8.1
4	ヘルパーステーションいきいき	1	2.4	4	静苑ホームヘルパーステーション友愛野幌	1	2.7
4	静苑ホームヘルパーステーション友愛野幌	1	2.4	4	ヘルパーステーションげんき	1	2.7
-	その他の事業所	4	9.5	-	その他の事業所	3	8.1
件数が最も多い事業所の選択理由				要支援認定者(江別市総合事業)の受入れを積極的に行っており、利用者が 増えている中でも対応可能な日程の情報提供がされるとともに、支援に関しても細 やか対応を行ってくれる。			

江別第二地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	ヘルパーステーション結の調	14	20.9	1	静苑ホームヘルパーステーション友愛野幌	13	20.3
2	静苑ホームヘルパーステーション友愛野幌	13	19.4	2	ヘルパーステーション結の調	13	20.3
3	誠志苑ヘルパーステーション	12	17.9	3	誠志苑ヘルパーステーション	10	15.6
4	訪問介護事業所 花ひかり	10	14.9	4	訪問介護事業所 花ひかり	8	12.5
5	ヘルパーステーションわかくさ	7	10.4	5	いろはケア江別駅前	7	10.9
-	その他の事業所	11	16.4	-	その他の事業所	13	20.3
件数が最も多い事業所の選択理由				サービス付き高齢者住宅及び住宅型有料老人ホームに併設している事業所を入 居者がそのまま利用している傾向がある。			

野幌第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	静苑ホームヘルパーステーション友愛野幌	50	53.2	1	静苑ホームヘルパーステーション友愛野幌	52	54.2
2	ヘルパーステーションわかくさ	8	8.5	2	ヘルパーステーションわかくさ	9	9.4
3	ヘルパーステーションおおあさ	7	7.4	3	ヘルパーステーションおおあさ	9	9.4
4	ヘルパーステーションいきいき	5	5.3	4	ホームヘルプサービス夢ふうせんみどり	7	7.3
5	萌えぎ野西ヘルパーステーション	5	5.3	5	萌えぎ野西ヘルパーステーション	4	4.2
-	その他の事業所	19	20.2	-	その他の事業所	15	15.6
件数が最も多い事業所の選択理由				ヘルパー利用が困難な状況の中、相談を断ることなく対応してくれるため。			

大麻第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	ヘルパーステーションおおあさ	64	56.6	1	ヘルパーステーションおおあさ	60	51.7
2	ヘルパーステーションいきいき	23	20.4	2	ヘルパーステーションいきいき	24	20.7
3	静苑ホームヘルパーステーション友愛野幌	14	12.4	3	静苑ホームヘルパーステーション友愛野幌	15	12.9
4	訪問介護事業所 花ひかり	3	2.7	4	ホームヘルプサービス夢ふうせんみどり	5	4.3
5	誠志苑ヘルパーステーション	2	1.8	5	訪問介護事業所 花ひかり	4	3.4
-	その他の事業所	7	6.2	-	その他の事業所	8	6.9
件数が最も多い事業所の選択理由				市内事業所のヘルパー不足による受け入れが困難な中でも、何とか対応可能な 日程を調整してくれる。今現在はヘルパー事業所を選択できる状況ではなくなっ ている。			

【 2 介護予防通所介護・第1号通所サービス】

江別第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	機能訓練専門デイサービスきたえる～む江別中央	65	33.9	1	機能訓練専門デイサービスきたえる～む江別中央	61	29.8
2	リハビリ特化型デイサービス カラダラボ	34	17.7	2	リハビリ特化型デイサービス カラダラボ	38	18.5
3	デイサービスセンターわかくさ	24	12.5	3	静苑ホームデイサービスセンター友愛野幌	24	11.7
4	デイサービスセンターゆあみ茶屋江別	17	8.9	4	デイサービスセンターわかくさ	23	11.2
5	静苑ホームデイサービスセンター友愛野幌	14	7.3	5	デイサービスセンターゆあみ茶屋江別	17	8.3
-	その他の事業所	38	19.8	-	その他の事業所	42	20.5
件数が最も多い事業所の選択理由				要支援状態に適した介護予防訓練プログラムが充実しており、提供時間も午前・午後の2部制になっているためニーズに合っている。新しい建物であり、利用希望者より通所先の指定についても多く聞かれる。			

江別第二地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	リハビリ特化型デイサービス カラダラボ	39	25.3	1	リハビリ特化型デイサービス カラダラボ	32	22.9
2	機能訓練専門デイサービスきたえる～む江別中央	19	12.3	2	機能訓練専門デイサービスきたえる～む江別中央	23	16.4
3	デイサービスセンターのぞみ	19	12.3	3	デイサービスセンターのぞみ	22	15.7
4	デイサービス江別ケアパークそよ風	15	9.7	4	デイサービス江別ケアパークそよ風	15	10.7
5	デイサービスセンター友愛江別	13	8.4	5	デイサービスセンター友愛江別	11	7.9
-	その他の事業所	49	31.8	-	その他の事業所	37	26.4
件数が最も多い事業所の選択理由				運動特化型のデイサービスを希望され、選択するケースが多い。圏域内には運動特化型は1件と少なく、受け入れ定員の都合上、圏域外の運動特化型を提案していくため。			

野幌第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	機能訓練専門デイサービスきたえる～む野幌	121	37.2	1	機能訓練専門デイサービスきたえる～む野幌	134	37.7
2	静苑ホームデイサービスセンター友愛野幌	31	9.5	2	リハビリ特化型デイサービスカラダラボ江別文京台	32	9.0
3	リハビリ特化型デイサービスカラダラボ江別文京台	30	9.2	3	静苑ホームデイサービスセンター友愛野幌	28	7.9
4	デイサービスセンターみのりの丘野幌	22	6.8	4	デイサービスセンターみのりの丘野幌	27	7.6
5	機能訓練専門デイサービスきたえる～む江別中央	22	6.8	5	機能訓練専門デイサービスきたえる～む江別中央	19	5.4
-	その他の事業所	99	30.5	-	その他の事業所	115	32.4
件数が最も多い事業所の選択理由				運動器機能の向上に向け、機能訓練のメニューや機材が充実している事業所であり、利用の意向が多い。			

大麻第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	機能訓練専門デイサービスきたえる～む野幌	50	24.6	1	機能訓練専門デイサービスきたえる～む野幌	51	23.6
2	デイサービスセンターいきいき	43	21.2	2	リハビリ特化型デイサービスカラダラボ江別文京台	48	22.2
3	リハビリ特化型デイサービスカラダラボ江別文京台	42	20.7	3	デイサービスセンターいきいき	44	20.4
4	デイサービスセンターひだまり	18	8.9	4	デイサービスセンターひだまり	21	9.7
5	デイサービスセンターみのりの丘野幌	12	5.9	5	デイサービスセンターみのりの丘野幌	10	4.6
-	その他の事業所	38	18.7	-	その他の事業所	42	19.4
件数が最も多い事業所の選択理由				短時間の運動を希望される利用者が多く、運動等のメニューもニーズに合っている。			

【 3 介護予防通所リハビリテーション】

江別第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	江別谷藤病院通所リハビリテーション	11	47.8	1	江別谷藤病院通所リハビリテーション	6	30.0
2	介護老人保健施設はるにれ	3	13.0	2	介護老人保健施設はるにれ	4	20.0
2	老健のっぽろ通所リハビリテーション	3	13.0	2	老健のっぽろ通所リハビリテーション	4	20.0
4	介護老人保健施設友愛ナースィングホーム	2	8.7	4	介護老人保健施設友愛ナースィングホーム	2	10.0
4	通所リハビリテーション日本介護江別	2	8.7	4	通所リハビリテーション日本介護江別	2	10.0
-	その他の事業所	2	8.7	-	その他の事業所	2	10.0
件数が最も多い事業所の選択理由				機能訓練プログラム・サービス提供時間がニーズに適している。また、整形外科に入院し、在宅復帰後も継続してリハビリテーションを行いたいという希望がある。運動以外にも趣味活動の時間もある。			

江別第二地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	介護老人保健施設ゆう	12	36.4	1	介護老人保健施設ゆう	13	39.4
2	老健のっぽろ通所リハビリテーション	8	24.2	2	老健のっぽろ通所リハビリテーション	6	18.2
3	介護老人保健施設はるにれ	6	18.2	3	江別谷藤病院通所リハビリテーション	6	18.2
4	江別谷藤病院通所リハビリテーション	4	12.1	4	介護老人保健施設はるにれ	4	12.1
5	介護老人保健施設友愛ナースィングホーム	1	3.0	5	クラーク病院通所リハビリテーション	1	3.0
-	その他の事業所	2	6.1	-	その他の事業所	3	9.1
件数が最も多い事業所の選択理由				言語聴覚士の配置や機能訓練メニューが多い。また、レクリエーションも豊富。			

野幌第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	江別谷藤病院通所リハビリテーション	27	34.6	1	江別谷藤病院通所リハビリテーション	31	36.0
2	老健のっぽろ通所リハビリテーション	13	16.7	2	老健のっぽろ通所リハビリテーション	16	18.6
3	介護老人保健施設友愛ナースィングホーム	10	12.8	3	介護老人保健施設はるにれ	11	12.8
4	通所リハビリテーション日本介護江別	9	11.5	4	通所リハビリテーション日本介護江別	10	11.6
5	介護老人保健施設はるにれ	7	9.0	5	介護老人保健施設友愛ナースィングホーム	9	10.5
-	その他の事業所	12	15.4	-	その他の事業所	9	10.5
件数が最も多い事業所の選択理由				専門職による個別の機能訓練を集中的に受けたいという希望が多いため。			

大麻第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	通所リハビリテーション日本介護江別	40	49.4	1	通所リハビリテーション日本介護江別	42	52.5
2	デイケアセンターおおあさ	14	17.3	2	介護老人保健施設葵の園・江別通所リハビリテーション	12	15.0
3	介護老人保健施設葵の園・江別通所リハビリテーション	11	13.6	3	デイケアセンターおおあさ	10	12.5
4	介護老人保健施設はるにれ	5	6.2	4	介護老人保健施設はるにれ	5	6.3
5	厚別老人保健施設ディ・グリューネン通所リハビリテーション	3	3.7	5	厚別老人保健施設ディ・グリューネン通所リハビリテーション	3	3.8
-	その他の事業所	8	9.9	-	その他の事業所	8	10.0
件数が最も多い事業所の選択理由				短時間で専門職による個別リハビリを受けたいという希望が多くある。			

【 4 介護予防福祉用具貸与】

江別第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	43	23.0	1	ニック株式会社 北海道中央営業所	35	20.8
2	ニック株式会社 北海道中央営業所	40	21.4	2	丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	32	19.0
3	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	25	13.4	3	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	26	15.5
4	マルベリーさわやかセンター札幌東	20	10.7	4	マルベリーさわやかセンター札幌東	18	10.7
5	株式会社ヤマコウ工業 ベベるい	12	6.4	5	株式会社ヤマコウ工業 ベベるい	15	8.9
-	その他の事業所	47	25.1	-	その他の事業所	42	25.0
件数が最も多い事業所の選択理由				急な依頼にも迅速に対応してくれ、土曜日の訪問・納品等も行ってくれる。各種調整に関しても高齢・介護関係だけでなく、障がい福祉サービスにも精通しており、幅広いニーズへの支援が可能。			

江別第二地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	37	27.6	1	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	33	25.2
2	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	32	23.9	2	ニック株式会社 北海道中央営業所	33	25.2
3	ニック株式会社 北海道中央営業所	31	23.1	3	丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	30	22.9
4	株式会社フロンティア札幌東営業所	7	5.2	4	株式会社フロンティア札幌東営業所	7	5.3
5	サウレ福祉用具貸与事業所	6	4.5	5	サウレ福祉用具貸与事業所	7	5.3
-	その他の事業所	21	15.7	-	その他の事業所	21	16.0
件数が最も多い事業所の選択理由				地元業者であり、地域にも詳しく対応が非常に迅速である。また、地域の利用者の認知度、信頼度が高く選択される傾向にある。			

野幌第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	福祉用具事業所ゆうあい	135	46.7	1	福祉用具事業所ゆうあい	121	44.2
2	丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	46	15.9	2	丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	44	16.1
3	北海道フォレスト福祉用具貸与・販売事業所	32	11.1	3	北海道フォレスト福祉用具貸与・販売事業所	31	11.3
4	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	25	8.7	4	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	20	7.3
5	DCM	12	4.2	5	DCM	12	4.4
-	その他の事業所	39	13.5	-	その他の事業所	46	16.8
件数が最も多い事業所の選択理由				相談に対し、早急に対応してくれる。 専門的な視点から、環境整備や物品を選定し、ご本人やご家族にも丁寧に説明してくれるため。			

大塚第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	72	40.4	1	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	64	38.8
2	丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	28	15.7	2	丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	25	15.2
3	マルベリーさわやかセンター札幌東	26	14.6	3	マルベリーさわやかセンター札幌東	21	12.7
4	株式会社フロンティア札幌東営業所	15	8.4	4	株式会社フロンティア札幌東営業所	16	9.7
5	ノースケア福祉用具貸与事業所	5	2.8	5	ダスキンヘルスレント札幌南ステーション	6	3.6
-	その他の事業所	32	18.0	-	その他の事業所	33	20.0
件数が最も多い事業所の選択理由				地域密着の知名度が高い事業所であり、職員の対応も丁寧で迅速である。またセンターへの来所も頻回で利用者の依頼や情報共有がしやすい。			

地域密着型施設の入所状況(令和6年度)

参考資料3

■グループホーム

(各月1日現在)

圏域	事業所名称	定員	入居者												
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
江別	グループホームひまわりの郷	18	17	18	17	17	18	18	18	17	17	16	17	18	17
	英生会グループホームゆめみの	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
	ニチイケアセンター江別	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
	グループホームそるぶす豊幌	18	18	16	16	18	18	18	17	17	17	17	17	17	17
	グループホーム江別ケアパークそよ風	18	18	18	18	18	18	18	17	17	18	18	18	18	18
	グループホーム北海ハウスみずほ館	18	17	17	17	16	17	18	18	18	18	17	17	16	17
	グループホームほのぼのさくら	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	9
	グループホームゆうあい	18	15	15	16	16	18	18	18	18	18	17	17	17	17
	グループホームたんぽぽ江別東光館	18	18	18	18	18	17	17	18	18	18	18	18	18	18
野幌	ふれあいの里グループホーム野幌	18	18	17	18	18	17	16	16	16	17	17	16	17	17
	グループホーム若葉	18	17	15	15	14	17	18	18	16	16	15	16	16	16
	グループホームこもれび	18	18	18	18	17	18	18	18	18	17	18	18	18	18
大麻	グループホームななかまど大麻	9	9	9	9	9	8	8	9	9	9	9	9	9	9
	グループホームひだまり	18	17	18	18	17	17	17	16	18	18	18	17	18	17
	グループホームグッドケア・大麻新町	18	16	18	18	17	17	17	17	17	18	18	17	17	17
	グループホーム冬桜	18	18	18	18	18	18	18	17	17	17	18	18	18	18
	グループホームぬくもり	18	16	18	18	18	17	18	18	17	18	16	18	18	18
	グループホームえべつ	18	18	16	17	15	16	17	17	16	16	17	17	17	17
計		306	295	294	296	291	296	299	297	294	297	294	294	296	295

■地域密着型特定施設

野幌	介護付有料老人ホーム蓮音	29	29	28	28	28	28	26	27	27	28	29	29	29	28
----	--------------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

■地域密着型介護老人福祉施設

野幌	地域密着型介護老人福祉施設かつこうの杜	29	27	27	26	27	27	27	28	29	26	26	26	26	27
江別	江別地域複合型ライフケアセンター夢つむぎ	29	29	28	28	28	28	29	28	28	28	28	27	28	28
計		58	56	55	54	55	55	56	56	57	54	54	53	54	55